

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童デイサービスセンター希望ヶ丘		
○保護者評価実施期間	令和8年2月19日		令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13 (回答者数)	11
○従業者評価実施期間	令和8年2月19日		令和8年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月26日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちの【やりたい】を(可能な限り)叶える	子どもたちの意見を反映したり、子どもたち考案のゲームを取り入れており、達成感や自己肯定感を高める取組みを行っている。	余暇時間の遊びのバリエーションを増やす。
2	1人ひとりの特性や発達に合わせたプログラムを設定している。	職員間での情報交換を定期的に行ったり、その日の様子を伝え合い、アセスメント・計画の見直しを行っている。	日々の活動で、計画内容を反映させつつ、その日の児童のやりたいこと、自己決定を尊重しながら実施する。
3	施設内の構造化により、活動の目的がわかる。また、十分な広さがあるため、車いすやバギーでの移動もしやすい。	・今年度は、和室をフローリングにし車いすの児童も自由に行き来できるようにした。 ・自立度を高めるための細かな環境設定を日頃から行っている。	落ち着ける空間やアイテムの不足が解消されていないので、今後の課題として取り組んでいく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	多様な特性を持つ児童への対応。	・SSTの定着、実施方法の見直しが必要。 ・専門的な知識のもと、統一した支援の不十分さ。	・外部の研修だけではなく、内部での研修を行い職員への周知と不安要素を軽減していく取組みを行う。 ・専門性を高める研修への参加。
2	ご家族へのマニュアル等の周知が不足している。	・契約時や保護者会での説明になってしまい、全員への周知がなされていない。	・契約時や保護者会の際だけではなく、毎年周知できるようおたより等でお知らせする。
3	地域の児童との交流が少ない。	・計画まではできたが、時期等合わず開催することができなかった。	・引き続き近隣の児童館や学童を招待するなどイベントの立案、開催に向けた取組みを行っていく。 ・地域交流等の検討も行う。